

複 製 禁 止

E L I C ビジネス & 公務員専門学校

自己評価報告書

令和 5 年度

(令和 4 年度評価)

|       |       |
|-------|-------|
| 記載責任者 | 森 登志男 |
| 記 載 者 | 木村 公一 |

# 目 次

|     |                                    |    |
|-----|------------------------------------|----|
| I   | 学校評価の意義・・・・・・・・・・・・・・・・            | 1  |
| II  | 学校評価の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・            | 1  |
| III | 学校評価者・・・・・・・・・・・・・・・・              | 1  |
| IV  | 学校の教育目標・・・・・・・・・・・・・・・・            | 3  |
| V   | 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画・・・・・・・・ | 3  |
| VI  | 評価項目の達成及び取組状況・・・・・・・・              | 6  |
|     | ( 1 ) 教育理念・目的・人材育成像・・・・・・・・        | 6  |
|     | ( 2 ) 学校運営・・・・・・・・・・・・・・・・         | 7  |
|     | ( 3 ) 教育活動・・・・・・・・・・・・・・・・         | 8  |
|     | ( 4 ) 学修成果・・・・・・・・・・・・・・・・         | 10 |
|     | ( 5 ) 学生支援・・・・・・・・・・・・・・・・         | 11 |
|     | ( 6 ) 教育環境・・・・・・・・・・・・・・・・         | 13 |
|     | ( 7 ) 学生の受入れ募集・・・・・・・・・・・・・・・・     | 13 |
|     | ( 8 ) 財務・・・・・・・・・・・・・・・・           | 14 |
|     | ( 9 ) 法令等の遵守・・・・・・・・・・・・・・・・       | 14 |
|     | (10) 社会貢献・地域貢献・・・・・・・・・・・・・・・・     | 15 |
|     | (11) 国際交流・・・・・・・・・・・・・・・・          | 15 |

# I 学校評価の意義

ELIC ビジネス&公務員専門学校では、文部科学省の「学校評価ガイドライン」に沿って、実行及び検証を行うことで自己評価報告書を作成し、この学校評価を適正な学校運営と教育改革に取り組む一助とする。

# II 学校評価の流れ

①学園の中長期計画を達成するため、事業計画を作成する。②各教職員が事業計画に基づいて業務を遂行する。③各教職員が現状の問題点を洗い出し総合的に評価する。④自己評価担当が評価内容を分析し自己評価報告書（案）を作成する。⑤自己評価委員会を開催し、提起された課題点に対しての改善方針を定め、自己評価報告書を完成させる。⑥自己評価報告書の内容を学校関係者評価委員会にて検証する。⑦学校評価報告書を作成し、学園本部に提出する。⑧学校評価報告書の必要項目をホームページにて情報公開する。

# III 学校評価者

## ①自己評価

ELIC ビジネス&公務員専門学校のすべての教職員が「自己評価者」となり、自己評価を実施する。自己評価担当者が内容をまとめ、自己評価報告書を作成する。

### 【自己評価者】

|       |       |      |        |
|-------|-------|------|--------|
| 校 長   | 森 登志男 | 教 諭  | 水本 貴久  |
| 事 務 長 | 小林 真子 | 教 諭  | 長谷川 靖洋 |
| 学年主任  | 木村 公一 | 教 諭  | 西 託民   |
| 学年主任  | 加藤 佳明 | 教 諭  | 瀬木 翼   |
| 渉外主任  | 徳永 好宣 | 教 諭  | 水谷 奈月  |
| 教 諭   | 田口 和吉 | 事務職員 | 小島 祐子  |

以上 12 名

### 【令和 4 年度自己評価担当者】

自己評価担当者は、次の本校教職員で構成される。

|      |       |        |
|------|-------|--------|
| 学年主任 | 木村 公一 |        |
| 教 諭  | 水谷 奈月 |        |
| 事務職員 | 小島 祐子 | 以上 3 名 |

## ②自己評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校自己評価委員会は、次の本校教職員で構成される。

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 校 長   | 森 登志男 |        |
| 事 務 長 | 高田 典明 |        |
| 教務部長  | 木村 公一 |        |
| 学年主任  | 加藤 佳明 |        |
| 渉外主任  | 徳永 好宣 | 以上 5 名 |

## ③学校関係者評価委員会

ELIC ビジネス&公務員専門学校に関係している多様なステークホルダーであり、多角的方面より評価をいただく。構成する関係者は次のとおりである。

|        |     |        |
|--------|-----|--------|
| 在学生保護者 | 2 名 |        |
| 本校卒業生  | 2 名 |        |
| 学生就職先  | 1 名 |        |
| 地域関係者  | 1 名 |        |
|        |     | 以上 6 名 |

## Ⅳ 学校の教育目標

第二次中長期計画で目標とした「持続的に自立可能な組織」への道程を総括しつつ、それを踏まえ第三次中期計画への準備を加速します。

## Ⅴ 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1. ELIC ビジネス&公務員専門学校経営上の基本的課題

- (1) 18歳人口が平成21年～令和2年頃までのほぼ120万人という緩やかな減少から、今後10年で約15万人減という急激な減少期に向け、財政基盤の安定を目指した体制作りを進めます。
- (2) 令和2年度に改定した適正規模の定員数及び戦略的指標（KPI）の達成状況を検証し、更なる向上を目指します。
- (3) 「コロナ禍で対応した各種の新たな動きを見定め、ICT化など改革を進めます。

### 2. ブランド力の強化

- (1) 建学の精神、校則に沿った人材の育成を目指し、学生がより成長できる学校作りを行います。
- (2) 学校関係者評価委員会など外部の意見を真摯に受け止め改善します。
- (3) ステークホルダーへホームページ、小冊子「絆」などで、本校の特色を具体的に分かりやすく発信します。財務情報はホームページで公開します。

### 3. 在学学生の安定的確保

- (1) 適正規模の124名入学生確保に全力を注ぎます。具体的には公務員科75名前後、ITスキル科50名前後を目標とします。コロナ禍における新規外国人入国禁止で日本語学校への入学は皆無に等しい。留学生の募集は、期待できないものと考えています。
- (2) オンライン体験入学などの充実を図り、非接触型広報活動を強化します。
- (3) 資料請求者の体験入学参加率、出願率の向上を目指した戦略に力を入れます。
- (4) 同種他校の広報活動を分析し対応します。

### 4. 財政基盤と管理運営の強化

- (1) 中期的視野にたち、人件費抑制など支出の減少を目指した計画を継続します。
- (2) 主任を中心とした組織運営を継続し、活気ある学校作りをします。
- (3) 継続的に不必要な居残りの根絶と速やかな帰宅を徹底するとともに、教職員の就業時間を適切に管理します。なお、就業時間中の不要で効率的でない業務は改善します。
- (4) 教員は平成30年度に作成した「職務記述書」の改訂版を9月末日までに作成し、その活用方法を検討し実行します。

## 5. 教学改革の努力

- (1) 学校教育法施行規則に基づくガイドラインに依拠した学校評価の内容の充実と結果の公表に努めます。
- (2) 卒業クラスは、各々公務員合格 60～70%、基本情報技術者試験合格 60～70%、N2（日本語能力検定）合格 60～70%の達成を必達目標とします。その他検定試験においても、高い率での合格を目標とします。
- (3) 公務員、各種資格試験の補習授業を合理的、効率的に行い、授業内で教え込むことを第一とします。
- (4) ICT 教育を進め、より合理的で効率的な教育体制を構築します。
- (5) 専任教員のみならず、非常勤講師の質の向上に努めます。
- (6) 退学率の減少、欠席の防止などに努め、真に面倒見の良い学校を目指します。

## 6. 学生・生徒に対する学習・生活支援と広範な利害関係者との連携強化

- (1) 令和 2 年度に策定した学生及び保護者のニーズに対応した細かい施策について、着実に実行します。
- (2) 指導部を中心に就職先の質の向上を図ります。また留学生クラスの担任と指導部の協力のもと、留学生の就職状況をより一層高めます。
- (3) 地元、地域に愛され共に発展する学校として認知されるよう平素から努めるとともに、地元でのボランティア活動を積極的行います。

## 7. 施設等教育環境の整備・充実化

- (1) 高圧機器更新工事など経年劣化したものや地震など、危機管理に対応できる修理修繕を行います。
- (2) 学生がより生活しやすい環境作りに努めます。

## VI 評価項目の達成及び取組状況

自己評価者の評価平均が 2.5 未満の項目を問題項目とし、現状分析・改善案を作成し、特に評価の低い 3 項目は重要改善項目と位置づける。

### (1) 教育理念・目標

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                                     | 評 価 |
|-------------------------------------------------------------|-----|
| a. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか<br>(専門分野の特性が明確になっているか)           | 3.8 |
| b. 学校における職業教育の特色は何か                                         | 3.5 |
| c. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか                               | 3.0 |
| d. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係<br>業界者・保護者等に周知がなされているか | 3.1 |
| e. 各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け<br>て方向づけられているか         | 3.0 |

#### ■課題

特になし

## (2) 学校運営

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                        | 評 価 |
|------------------------------------------------|-----|
| a. 目的等に沿った運営方針が策定されているか                        | 3.6 |
| b. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか                       | 3.7 |
| c. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか | 3.4 |
| d. 人事、給与に関する規程等は整備されているか                       | 3.5 |
| e. 教務・財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか             | 3.3 |
| f. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか             | 3.1 |
| g. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                    | 3.4 |
| h. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか                   | 2.3 |

### ■課題

#### h) 重点① 昨年度 2.2

- ・名簿管理、出席管理が紙ベースで行われており、非効率である。
- ・マスターが複数存在するなどデータに整合性がない。
- ・既卒者の卒業証明書など手作業で行っており、電算化したい。

### ■今後の改善方針

#### h) 重点①

- ・学生カード、公欠処理、出席管理の電算化を検討する。
- ・大学で使用している DB システムを活用し効率化を図る。

### (3) 教育活動

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                                        | 評 価 |
|----------------------------------------------------------------|-----|
| a. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 3.2 |
| b. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3.2 |
| c. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | 3.2 |
| d. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | 3.2 |
| e. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか            | 2.1 |
| f. 関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ・実技・実習等）が体系的に位置づけられているか     | 2.6 |
| g. 授業評価の実施・評価体制はあるか                                            | 3.7 |
| h. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 2.6 |
| i. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | 3.7 |
| j. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。                       | 3.4 |
| k. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     | 2.9 |
| l. 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか      | 2.7 |
| m. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか | 2.2 |

## ■課題

### e) 重点② 昨年度 2.5

- ・ 企業人の講義が少なく、連携しているとはいえない。

m)

- ・ 参観授業、授業アンケートなど指導力の向上に役立つ取組をしているが、不足している。

## ■今後の改善方針

### e) 重点②

- ・ 学生インターンシップの参加者、参加数を増やす。
- ・ 企業人から講義が聞けるよう、新たな講義体制を検討する。  
(マンスリー講師(企業人)に1月1回講義を実施していただく)

m)

- ・ 費用面、勤務面を考慮し、研修に参加しやすい組織作りを推進する。
- ・ 新たな研修を検討する。

#### (4) 学修成果

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                  | 評 価 |
|------------------------------------------|-----|
| a. 就職率の向上が図られているか                        | 2.8 |
| b. 資格取得率の向上が図られているか                      | 3.5 |
| c. 退学率の低減が図られているか                        | 2.2 |
| d. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか            | 2.8 |
| e. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 2.8 |

#### ■課題

##### **c) 重点③ 昨年度 2.8**

- ・例年に比べ退学者が多い。
- ・退学者増加の原因を究明する必要がある。

#### ■今後の改善方針

##### **c) 重点③**

- ・コロナの影響で、留学生の退学が増加している。(金銭面、不透明感)
- ・精神的に弱い学生が多く、登校できなくなるケースが増加している。
- ・担任を中心に、フォローアップできる体制を検討する。

## (5) 学生支援

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                    | 評 価        |
|--------------------------------------------|------------|
| a. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか                  | <b>3.2</b> |
| b. 学生相談に関する体制は整備されているか                     | <b>3.1</b> |
| c. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか                 | <b>3.6</b> |
| d. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | <b>2.8</b> |
| e. 課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | <b>3.1</b> |
| f. 学生の生活環境への支援は行われているか                     | <b>3.0</b> |
| g. 保護者と適切に連携しているか                          | <b>3.5</b> |
| h. 卒業生への支援体制はあるか                           | <b>3.1</b> |
| i. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・就業教育の取組が行われているか | <b>3.0</b> |

### ■課題

特になし

## (6) 教育環境

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                             | 評 価 |
|-------------------------------------|-----|
| a. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 2.9 |
| b. 防災に対する体制は整備されているか                | 3.2 |

### ■課題

特になし

## (7) 学生の受入れ募集

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                                 | 評 価 |
|-----------------------------------------|-----|
| a. 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか      | 3.3 |
| b. 学生募集活動は、適正に行われているか                   | 3.2 |
| c. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか | 3.3 |
| d. 学生納付金は妥当なものとなっているか                   | 3.4 |

### ■課題

特になし

## (8) 財務

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                     | 評 価 |
|-----------------------------|-----|
| a. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか     | 3.3 |
| b. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3.4 |
| c. 財務について会計監査が適正に行われているか    | 3.8 |
| d. 財務情報公開の体制整備はできているか       | 3.7 |

### ■課題

特になし

## (9) 法令等の遵守

評価基準「適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1」

| 評 価 項 目                          | 評 価 |
|----------------------------------|-----|
| a. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 3.6 |
| b. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 3.4 |
| c. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか         | 3.4 |
| d. 自己評価結果を公開しているか                | 3.9 |

### ■課題

特になし

## (10) 社会貢献・地域貢献

| 評 価 項 目                   | 評 価        |
|---------------------------|------------|
| a. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | <b>3.6</b> |

### ■課題

特になし

## (11) 国際交流

| 評 価 項 目                                | 評 価        |
|----------------------------------------|------------|
| a. 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか          | <b>3.4</b> |
| b. 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか | <b>3.3</b> |
| c. 留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか   | <b>3.4</b> |

### ■課題

特になし